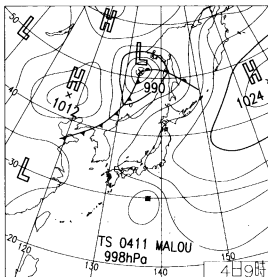


日々の天気図

— No. 31

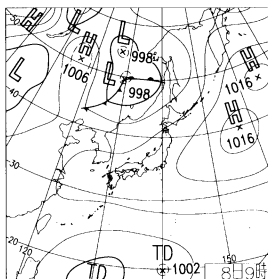
2004年 8月

・台風が8個発生し、11号(4日)・15号(20日)・16号(30日)が上陸。
 ・1日～2日、四国で大雨。
 ・7日～10日、大気の状態が不安定、広い範囲で雷雨や短時間強雨。
 ・17日～20日、台風第15号等により、西日本を中心に大雨・暴風。
 ・29日～31日、台風第16号により、各地で大雨・暴風・高潮。
 (気象庁予報部予報課)



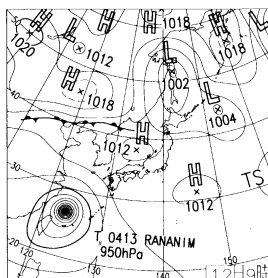
4日(水)台風第11号発生・上陸

本州の南海上の熱帯低気圧は急速に発達。潮岬の南で台風第11号となり、夜には徳島県東部に上陸。ウェーク島付近で台風第12号が発生。



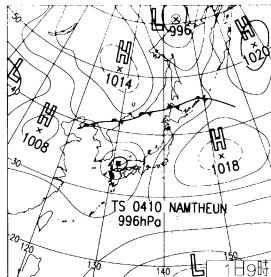
8日(日)台風第13号発生

大気的不安定な状態が続く。東北～九州の所々で雷雨。東北・四国は非常に激しい雨。岩手県九戸村56.5 mm/h、愛媛県広見町73.5 mm/h。



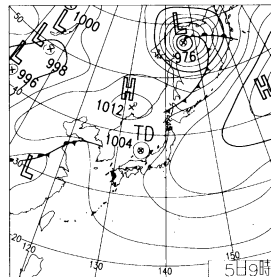
12日(木)東京真夏日連続新記録

本州は高気圧に覆われ、概ね晴れ。北海道・東北北部・南西諸島の一部を除き、ほとんどの地域で真夏日。東京の最高気温は32.6℃。38日連続の真夏日となり、連続記録を更新。



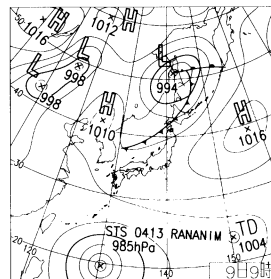
1日(日)四国豪雨

台風第10号は日本海をゆっくり北上。暖湿気の流入で四国は日雨量500 mmを超す豪雨。徳島県神山町588 mm/日。高知県土佐山田町で110 mm/hの猛烈な雨、1時間雨量の記録更新。



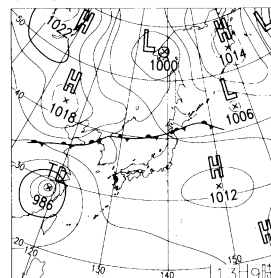
5日(木)三重県・奈良県で豪雨

台風第11号は、四国・中国地方を縦断し、日本海で熱帯低気圧に。暖湿気が流入した紀伊半島は日雨量400 mmを超す豪雨。奈良県上北山村で540 mm/日。



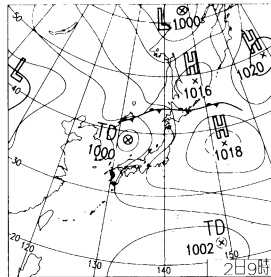
9日(月)ほぼ全国的に真夏日

台風第13号の接近により沖縄は曇り。その他は高気圧に覆われ晴れ。最高気温は全国的に30℃を超える。午後は大気の状態が不安定となり、福井県和泉村で94 mm/hの猛烈な雨。



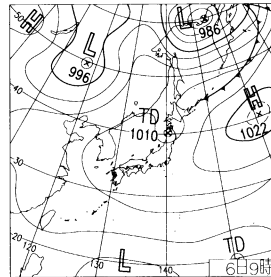
13日(金)全国的に晴れ

高気圧に覆われた関東から西は引き続き真夏日。最高気温は熊本市で36.2℃。夏休み真最中、気象庁天気相談所には親子連れが宿題の研究課題探しにと、多数訪れる。



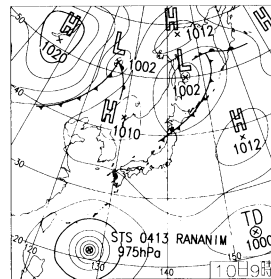
2日(月)四国大雨続く

日本海の熱帯低気圧に向かう暖湿気により、四国は大雨が続く。高知県中村市262 mm/3h。北陸から北ではフェーン効果を伴い気温が上昇し、富山市・山形市等で35℃を超す。



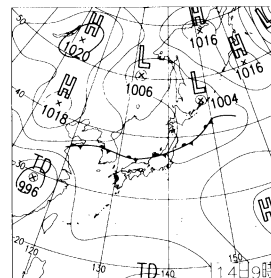
6日(金)東京32日連続真夏日

日本付近は高気圧に覆われ、13の気象官署で35℃を超え、埼玉県熊谷市・宮崎県日田市・福島市は36℃を超える。東京は7月6日以降32日連続の真夏日で、連続日数2位の記録。



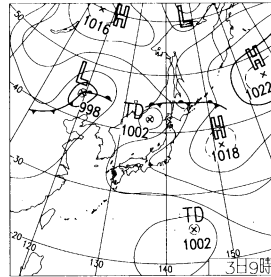
10日(火)宮古市等で震度5弱

寒冷前線が通過し、北日本を中心に寒気が入る。兵庫県佐用町で55 mm/h等、各地で雷雨や短時間強雨。岩手県沖を震源とする地震で、岩手県宮古市・野田村で震度5弱。



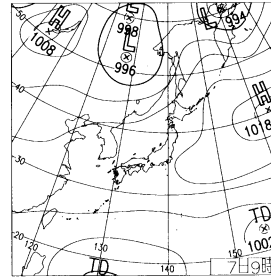
14日(土)日本列島秋と夏が同居

前線が北陸～東北を通り東西にのびる。前線の北側の新潟市は最高気温26.8℃、南側の東京は34.7℃で、約8℃の差。前線の南は真夏、北では初秋の気配。



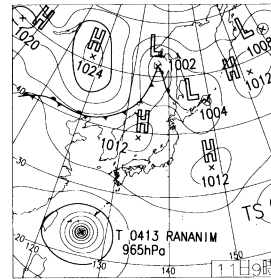
3日(火)北陸乾燥状態続く

東海から西の太平洋側は、暖湿気の流入で曇りや雨。北海道は前線と台風から変わった熱帯低気圧の影響で雨。南風によるフェーン現象が続く。北陸は、空気の乾燥した状態が続く。



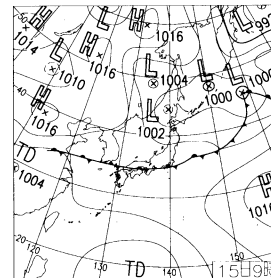
7日(土)山沿いを中心に雷雨

上空に寒気が流れ込み、全国的に大気の状態が不安定。山沿いを中心に雷雨。甲府市78 mm/h、群馬県下仁田町69 mm/h等、関東北部や甲信地方は非常に激しい雨。



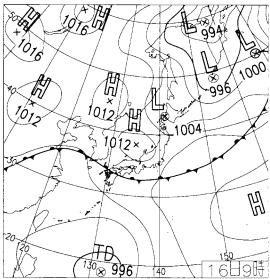
11日(水)先島諸島暴風域に

日本海の高気圧に覆われ、北海道と沖縄を除いて概ね晴れ。台風第13号は宮古島と石垣島の間を通過。宮古島で最大風速26.2 m/s、最大瞬間風速48.8 m/s。台風第14号発生。



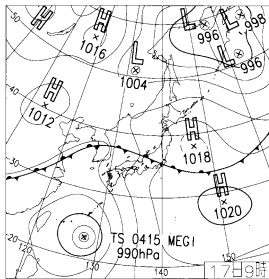
15日(日)東京の真夏日途切れる

関東南岸から西日本に前線が停滞。南西諸島を除いて曇りや雨。関東は前線の北側に入り、最高気温は30℃を下回る。東京の真夏日の連続記録は40日で途切れる。



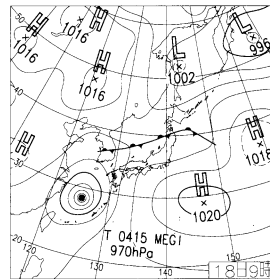
16日(月)台風第15号発生

前線は本州南岸に停滞。北海道は低気圧や寒気の影響で曇りや雨。その他は日本海の高気圧に覆われ、概ね曇りや晴れ。台風第15号発生。



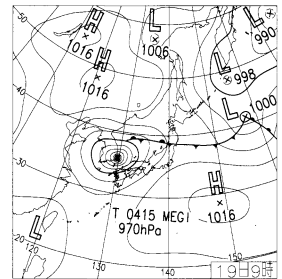
17日(火)西日本で激しい雨

台風第15号が先島諸島を通過。台風と、高気圧の縁辺に沿う暖湿気により、西日本を中心に雷を伴った激しい雨。高知県本川村で61mm/h、愛媛県四国中央市で398mm/h。



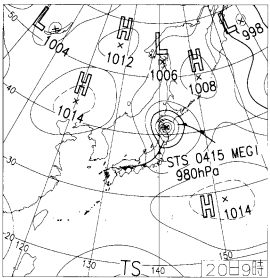
18日(水)四国大雨続

東シナ海を北上する台風第15号に伴って、西日本は暖湿気の流れが続く。愛媛県新居浜市128mm/3h、高知県池川町111mm/3h等、四国では大雨が続く。



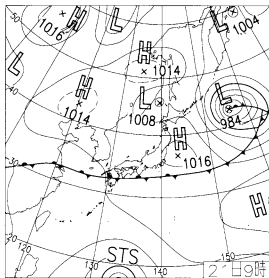
19日(木)台風第16号発生

台風第15号は対馬付近を通過し、日本海を北上。長崎県対馬市で最大瞬間風速48.7m/s。関東甲信と北陸で気温上昇。埼玉県熊谷市と金沢市で最高気温37.7℃。台風第16号発生。



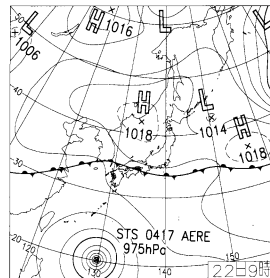
20日(金)15号温低化と17号発生

台風第15号は津軽半島に上陸し、北海道の東で温帯低気圧に。秋田市で最大瞬間風速41.1m/s、北海道南茅部町で日雨量200mm。北日本以外は晴れ。台風第17号発生。



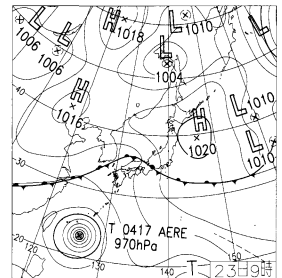
21日(土)平年並の気温に戻る

台風から変わった低気圧からのびる寒冷前線の南下で、全国的に平年並の気温に戻る。最高気温は関東南部は前日より5℃前後低く、甲府は7.1℃低い29.1℃。



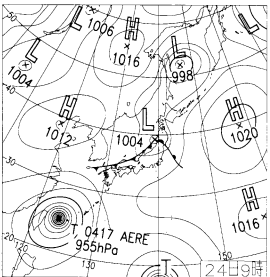
22日(日)北日本穏やかな晴れ

北日本は高気圧に覆われて穏やかな晴れ。その他は山陰～関東南岸に停滞する前線により曇りや雨。神戸市は最高気温30.8℃。真夏日より熱い、高校野球決勝戦。



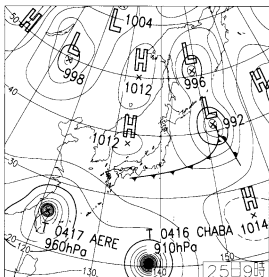
23日(月)関東・東北10月上旬並

台風第17号が先島諸島に接近。暖湿気が流入し、高知県室戸市では日雨量315mm。北東気流が入った関東～東北は気温が下がり、10月上旬並。



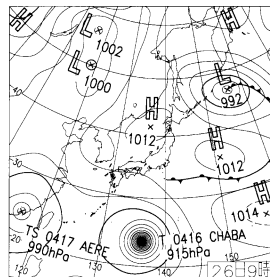
24日(火)台風第17号発達

台風第17号は未明に南西諸島を通過。石垣島を眼の中に入れながら、ゆっくり西北西進。石垣島で最大瞬間風速56.0m/s。16号は日本の遙か南海上で「大型・猛烈」な勢力を維持。



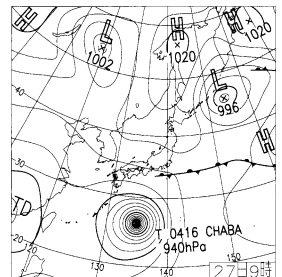
25日(水)気温全国的に平年並

日本の南岸に前線停滞。近畿～関東で曇り。その他は晴れ。気温は全国的に平年並か低い。台風第17号は台湾を暴風域に巻き込みながら西進。台風第16号は沖の島島の東を北西進。



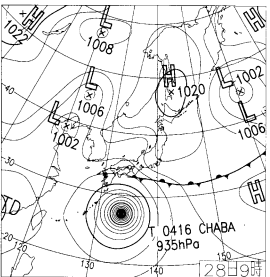
26日(木)台風第16号北上

日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れるが、前線に近い関東～近畿は曇り。大型で非常に強い台風第16号は、幾分勢力を弱めながら南西諸島へ向け北上。



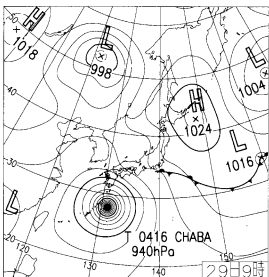
27日(金)九州猛暑

高気圧に覆われて全国的に晴れて、西日本を中心に気温が上昇。熊本県牛深市では37.2℃と、8月の記録を更新。台風第16号は勢力を維持したままゆっくり北西進。



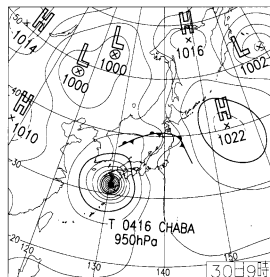
28日(土)台風第18号発生

オホーツク海の冷たい高気圧が北・東日本を覆い、本州南岸には前線が停滞。北日本や北陸は晴れるが、その他は曇りや雨。8月に入り8個目となる台風第18号が発生。



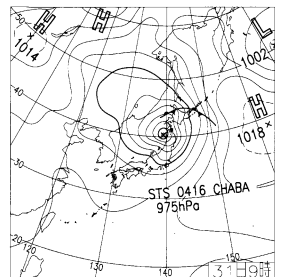
29日(日)屋久島最大風速31.8m/s

関東以西の太平洋側は、台風第16号と前線の影響で雨。その他は曇り。鹿児島県瀬戸内町で日雨量417mm。屋久島では最大風速31.8m/sで、2位の記録。



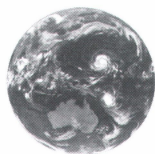
30日(月)九州・四国豪雨

台風第16号は鹿児島県、続いて山口県に上陸し、日本海を北上。西日本は暴風と豪雨。宮崎県南郷村では日雨量584mmで、1位を更新。室戸岬では最大瞬間風速58.3m/s。



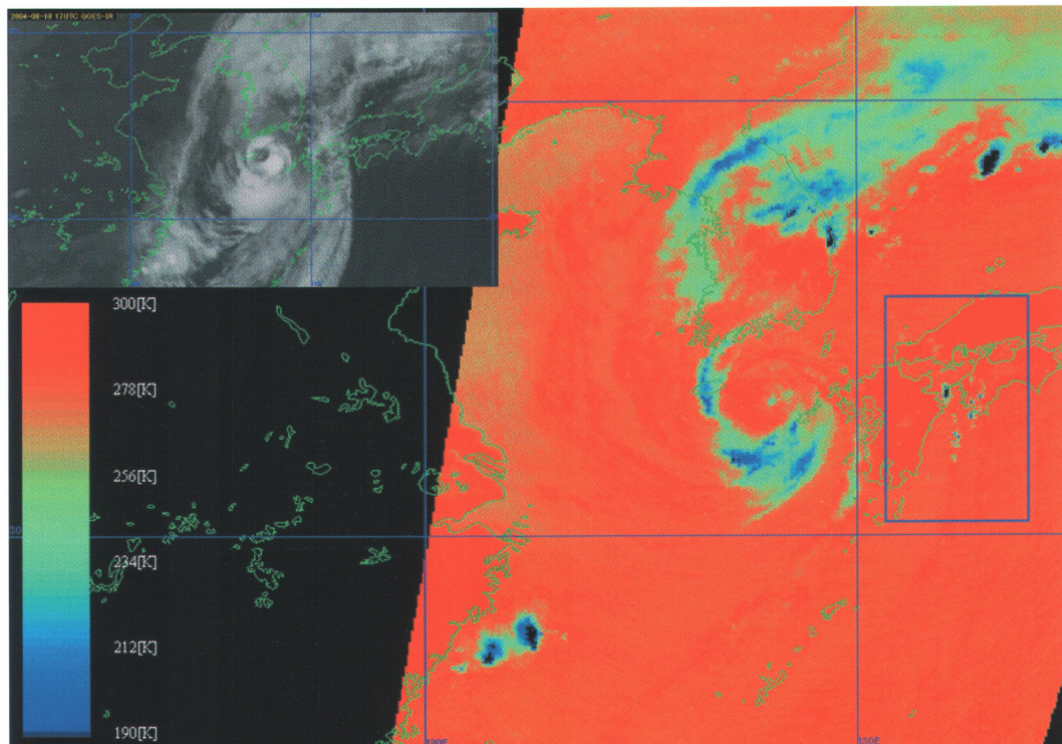
31日(火)台風第16号温低化

日本海を進んだ台風第16号は北海道に上陸し、夕方オホーツク海に抜けた後、温帯低気圧に変わる。最大瞬間風速は、石川県輪島市41.0m/s、山形県酒田市40.2m/s。



今月の衛星画像—2004年8月

マイクロ波で見た発達した対流雲列



2004年8月19日午前1時の89.0GHz 垂直偏波画像 (JAXA 提供)
右下：2004年8月19日午前2時の赤外画像

8月16日フィリピンの東海上で発生した台風第15号は、沖縄の南から対馬海峽を通り20日午前早朝に津軽半島に上陸した後、夕方には釧路沖へ進んで温帯低気圧となった。西日本への直撃はなかったが、台風に伴う強い暖湿流と高気圧の縁辺流により、愛媛県および高知県では1時間に50ミリを越える激しい雨が降った。愛媛県で4人、香川県で5人の死者がでたほか高知県では土佐町の小学校が孤立するなど甚大な災害が発生した。

写真は Aqua 衛星*の AMSR-E センサーによるマイクロ波衛星画像である (参考のため撮像時刻に近い

GOES-9の赤外画像を付した)。マイクロ波は粒径の大きな雨滴と氷に強く散乱される。そのため、輝度温度が低い部分は強い降水域または氷を含むある程度以上厚い雲であると推定される。図中青枠内の紫・青部分はレーダーなどと比較すると発達した対流雲列であると考えられ、赤外画像よりも鮮明に上層雲と識別される。発達した対流雲列の監視は防災上重要であり、マイクロ波画像は有効な監視手段になると期待される。マイクロ波画像の利用は試験段階であり、特性など現在調査中である。

(気象衛星センター)

*Aqua 衛星；2002年5月4日に打ち上げられた NASA の地球観測衛星。アメリカ・日本・ブラジルの国際協力プロジェクトに基づいて共同開発され、AMSR-E、MODIS、

AMSU、HSB、AIRS など多種類のセンサーを搭載する。極軌道衛星で日本付近を1日2回01時30分、13時30分頃通過する。